

**Pro-face**

by Schneider Electric

# SP5000 シリーズ オープンボックス 無線 LAN 設定マニュアル

---

本書の情報には本書に記載された製品についての一般的説明および性能の技術特性が含まれません。本書は、お客様の特定の用途に対する本製品の適合性または信頼性を確約するために作成されたものではありません。お客様またはインテグレーター様は自らの責任で、関連する特定の用途またはその使用に関する本製品のリスク分析、評価、および試験を完全かつ適切に行なってください。シュナイダーエレクトリック社あるいは系列会社（以下、シュナイダーエレクトリックと称します）は、本書に記載された情報の誤用に対して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本書の内容について改善点や修正点の提案がある場合、また何らかの誤りを発見した場合には、弊社までご連絡ください。

媒体の如何を問わず本書の内容の一部およびすべてを、シュナイダーエレクトリックの書面の明示による許可なしに、個人または非商業的使用以外の目的で複製することを禁じます。また、本書およびその内容へリンクを張ることを禁じます。シュナイダーエレクトリックは、使用者自身の責任において「現状有姿」のまま閲覧する非独占的権利を除き、本書およびその内容の個人または非商業的使用に対して、いかなる権利またはライセンスを許諾しません。その他著作権も所有しており、無断複写、転載を禁じます。

本製品を設置して使用する際には、関連する州、地域、地区の安全規定をすべて順守する必要があります。安全のため、また、記録されたシステムデータの適合性を確保するため、部品の修理は製造業者にお任せください。

装置を技術的な安全要件がある用途に使用する場合、関連する指示に従ってください。

シュナイダーエレクトリックのハードウェア製品には必ず、シュナイダーエレクトリック製のソフトウェアまたは承認されたソフトウェアをご使用ください。この指示に従わない場合、人的損害、物的損害、また不適切な動作が生じる可能性があります。

この情報に従わない場合、人的損害や装置の損傷を招くおそれがあります。

Copyright © 2017 Schneider Electric Japan Holdings Ltd. All Rights Reserved.

# 目次



	安全に関する使用上の注意 . . . . .	5
	本書について . . . . .	7
<b>第 1 章</b>	<b>概要 . . . . .</b>	<b>9</b>
	概要 . . . . .	10
	設定の流れ . . . . .	12
	ネットワーク認証方式とデータ暗号化方式 . . . . .	14
<b>第 2 章</b>	<b>無線 LAN 設定 . . . . .</b>	<b>15</b>
2.1	IP アドレスについて . . . . .	16
	各機器の IP アドレス . . . . .	16
2.2	無線 LAN 設定画面の起動方法 . . . . .	18
	起動方法 . . . . .	18
2.3	各種設定画面 . . . . .	20
	概要 . . . . .	21
	言語選択 . . . . .	22
	システムステータス . . . . .	23
	ログイン . . . . .	24
	TCP/IP 設定 . . . . .	25
	無線 LAN 設定 . . . . .	27
	スマート無線設定 . . . . .	29
	AP 検索 . . . . .	32
	無線 Up/Down (無線 LAN の有効 / 無効) . . . . .	33
	パスワードの設定 . . . . .	34
	再起動 . . . . .	35
	工場出荷時設定 . . . . .	36
	ファームウェアアップデート . . . . .	37
	ログアウト . . . . .	38



# 安全に関する使用上の注意



## 重要な情報

### お断り

本書をよくお読みいただき、装置の正しい取り扱いと機能を十分ご理解いただいた上で、設置、操作、保守を行ってください。本書および装置には以下の表示が使われています。これらは潜在的な危険を警告したり、手順を明確化あるいは簡素化する情報について注意を呼びかけるものです。



この記号が「危険」または「警告」安全ラベルに追加されると、電気的な危険が存在し、指示に従わないと人身傷害の危険があることを示します。



安全警告記号です。人的傷害の危険性があることを警告します。  
この記号の後に記載された安全に関する情報に従って、人的傷害や死亡の危険性を回避してください。

## ⚠ 危険

危険は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招きます。

## ⚠ 警告

警告は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招くおそれがあります。

## ⚠ 注意

注意は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、軽傷を招くおそれがあります。

## 注記

この表示は、指示に従わないと物的損害を負う可能性があることを示します。

### 以下の点に注意してください。

電気装置の設置、操作、サービス、および保守は有資格者のみが行うことができます。定められた範囲外の使用によって生じた結果については、シュナイダーエレクトリックは一切の責任を負いかねます。

有資格者とは、電気装置の構造および操作ならびに設置に関する技術と知識を持ち、関連する危険性を認識して回避するために安全トレーニングを受けた人を指します。



---

# 本書について

---



## 概要

### 本書の適用範囲

このマニュアルでは、SP5000 シリーズ オープンボックス (これより「オープンボックス」と称します) SP5000 シリーズ ディスプレイモジュール これより「無線 LAN モデル」と称します) み合わせて使用する際の必要な無線 LAN 設定について説明します。

### 有効性に関する注意

本書はオープンボックスと無線 LAN モデルを対象として書かれています。

本書で説明する装置の技術的特性については、オンラインでもご確認ください。

<http://www.proface.co.jp>

本書に記載された特性は、明確性と正確性を確保するため継続的に更新されています。ご使用のパソコン上のマニュアルとオンラインで入手した情報に違いがある場合、オンライン情報の方を参照してください。

### 登録商標

Microsoft と Windows は米国およびその他の国の Microsoft Corporation における登録商標です。

本書に記載の製品名は、それぞれの権利者の登録商標である場合があります。

### 関連マニュアル

ハードウェアマニュアルなど、オープンボックスと無線 LAN モデルに関連するマニュアルは、サポート専用ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>





---

# 第 1 章

## 概要

---

### この章について

この章には次の項目が含まれています。

項目	参照ページ
概要	10
設定の流れ	12
ネットワーク認証方式とデータ暗号化方式	14

## 概要

### 概要

オープンボックスと無線 LAN モデルを組み合わせる場合、インターネットブラウザから無線 LAN 設定画面を表示させ、無線 LAN 接続のための各種設定を行います。

無線 LAN モデルは、アクセスポイントまたはクライアントのどちらかのモードで使用できます。また、スマート無線設定により、簡単に無線 LAN 設定を行うこともできます。

### 無線 LAN インターフェイス仕様

規格	IEEE802.11b/IEEE802.11g/IEEE802.11n
周波数帯域幅	2.4 GHz
チャンネル帯域幅	20 MHz
通信チャンネル	アクセスポイントモード <sup>*1</sup> :1 ~ 11 チャンネル  クライアントモード <sup>*2</sup> : <ul style="list-style-type: none"> <li>● 北米 (US):1 ~ 11 チャンネル</li> <li>● 日本 (JP):1 ~ 13 チャンネル</li> <li>● ヨーロッパ (EU):1 ~ 13 チャンネル</li> <li>● 韓国 (KR):1 ~ 13 チャンネル</li> <li>● 中国 (CN):1 ~ 13 チャンネル</li> <li>● 台湾 (TW):1 ~ 11 チャンネル</li> </ul>
通信速度	IEEE802.11b: 最大 11 Mbps IEEE802.11g: 最大 54 Mbps IEEE802.11n: 最大 72.2 Mbps
通信距離 <sup>*3</sup>	アプリケーションソフトウェアや周囲環境により距離が変動
動作モード	クライアントモード / アクセスポイントモード
通信モード	インフラストラクチャー
ネットワーク認証方式	Open、WPA-Personal、WPA2-Personal
データ暗号化方式	WEP (128 ビット) (Open) <sup>*4</sup> AUTO/TKIP (WPA-Personal) AES (WPA2-Personal)
クライアント最大接続台数	10 <sup>*5</sup>

\*1 アクセスポイントモードでは、IEEE802.11d に対応していません。

\*2 周辺アクセスポイントが IEEE802.11d に対応していない場合は、1 ~ 11 チャンネルに限定されます。

\*3 接続可能範囲は表示面側のみです。また接続可能距離や範囲は、お客様の使用環境や使用アプリケーション、通信相手機器に依存します。事前にお客様の使用環境にて指向性を含めた動作確認を実施してください。

\*4 アクセスポイントモードでは、WEP に対応していません。

\*5 11 台目の接続要求は拒否されます。良好な通信が確保できる接続台数はお客様の使用環境、使用アプリケーション、通信相手機器に依存します。事前にお客様の使用環境において接続台数を含めた動作確認を実施してください。

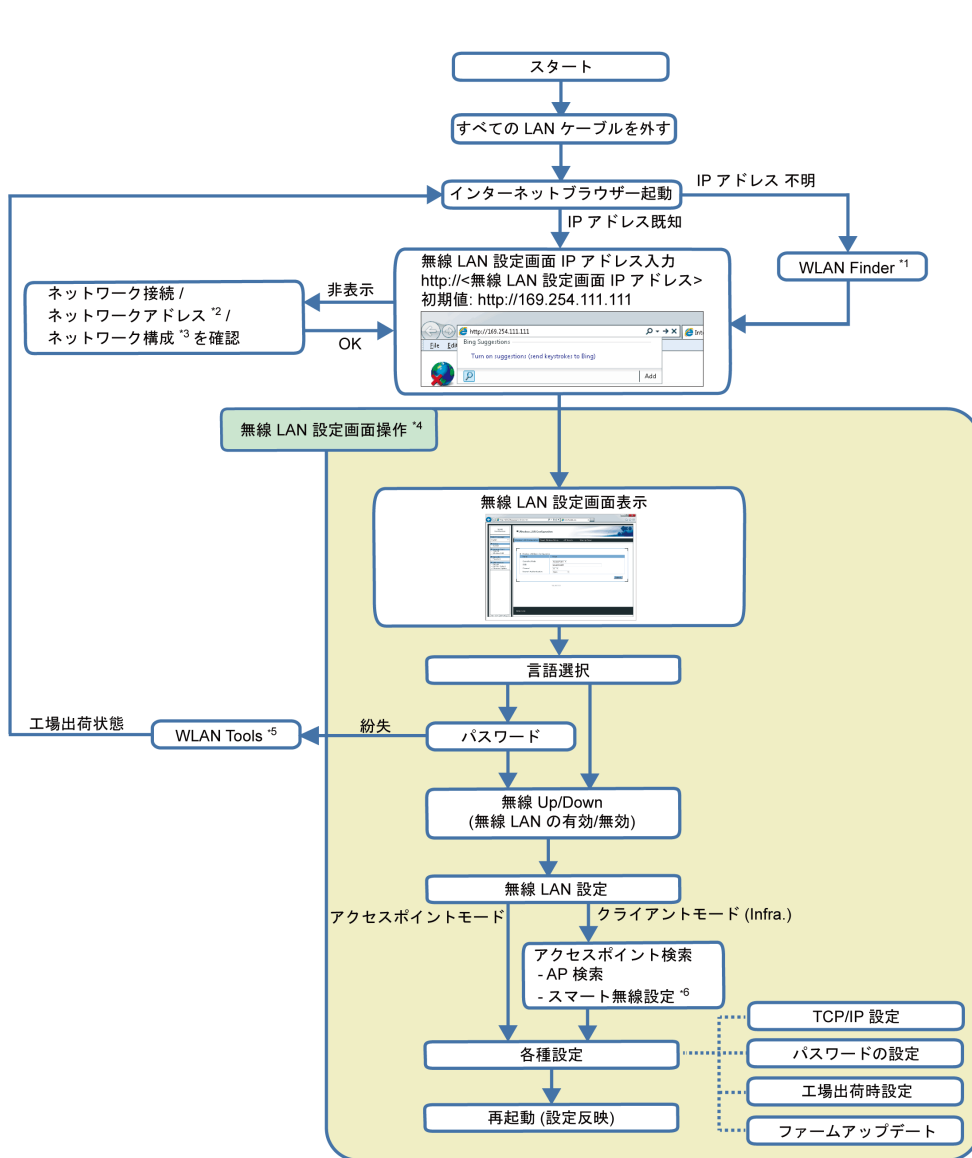
**注記:** ステルス機能には対応していません。

**⚠ 警告**

**意図しない動作**

- 機器を操作する用途に無線通信を使用しないでください。
  - 無線通信システムの設計では、通信干渉の可能性を考慮する必要があります。
- 上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または物的損害を負う可能性があります。

## 設定の流れ



\*1 IP アドレスが不明な場合は、WLAN Finder を使用し IP アドレスを検索する必要があります。WLAN Finder については弊社サポート専用サイトを参照してください。<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>。

\*2 2.1 無線 LAN 設定画面の起動方法 (18 ページ参照) を参照してください。

\*3 これらの構成に問題が無い場合でも無線 LAN 設定画面が表示されない場合は、WLAN Tools で無線 LAN 設定を工場出荷状態に戻すことをお勧めします。WLAN Tools については弊社サポート専用サイトを参照してください。<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>。

\*4 無線 LAN 設定画面の各設定については、第 2 章 無線 LAN 設定 (15 ページ参照) を参照してください。

\*5 パスワードを紛失した場合は WLAN Tools を使用し、無線 LAN 設定を工場出荷状態に戻す必要があります。

\*6 本設定で他社製品と無線 LAN 接続を行う場合は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) 対応製品をご使用ください。ただし、すべての WPS 対応製品と接続できるとは限りません。

## ネットワーク認証方式とデータ暗号化方式

無線 LAN 設定を、手動で行う場合とスマート無線設定で行う場合では、対応するネットワーク認証方式とデータ暗号化方式の組み合わせが異なります。

### アクセスポイントモード

ネットワーク認証方式	データ暗号化方式	手動設定	スマート無線設定
OPEN	なし	✓	✓
	WEP	-	-
WPA-Personal	AUTO	✓	-
	TKIP	✓	-
	AES	-	-
WPA2-Personal	AUTO	-	-
	TKIP	-	-
	AES	✓	✓

### クライアントモード

ネットワーク認証方式	データ暗号化方式	手動設定	スマート無線設定
OPEN	なし	✓	✓
	WEP	✓	-
WPA-Personal	AUTO	✓	✓
	TKIP	✓	✓ *1
	AES	-	✓ *1
WPA2-Personal	AUTO	-	✓ *2
	TKIP	-	✓ *2
	AES	✓	✓

\*1 無線 LAN 設定画面上の表示は、WPA-Personal/AUTO となります。

\*2 無線 LAN 設定画面上の表示は、WPA2-Personal/AES となります。

---

## 第 2 章

### 無線 LAN 設定

---

#### この章について

この章には次のセクションが含まれています。

セクション	項目	参照ページ
2.1	IP アドレスについて	16
2.2	無線 LAN 設定画面の起動方法	18
2.3	各種設定画面	20

## 2.1 IP アドレスについて

### 各機器の IP アドレス

#### 概要

オープンボックスと無線 LAN モデルを組み合わせる無線 LAN 接続を行う場合は、以下の各機器の IP アドレス状態をご理解のうえ、無線 LAN 設定を行ってください。

#### アクセスポイントモード

オープンボックス ( 下図 1 )、無線 LAN モジュール ( 2 )、他の無線 LAN クライアント ( 4 ) は、それぞれ異なる IP アドレスを持っています。アクセスポイントモードの場合、無線 LAN モジュール ( 2 ) と無線 LAN 設定画面 ( 3 ) は同じ IP アドレスを持ちます。

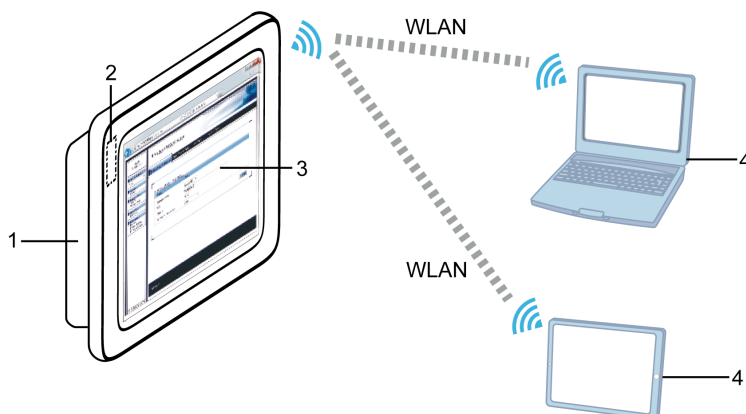
オープンボックス ( 1 ) の IP アドレスは、オープンボックス ( 1 ) に搭載されている Windows® のコントロールパネルで設定します。

無線 LAN モジュール ( 2 ) と無線 LAN 設定画面 ( 3 ) の IP アドレスは、本書で説明している無線 LAN 設定画面の TCP/IP 設定 ( 25 ページ参照 ) で、共通で設定します。

他の無線 LAN クライアント ( 4 ) の IP アドレスは、それぞれに搭載されている所定の設定ツールで設定します。

他の無線 LAN クライアント ( 4 ) の設定ツールで無線 LAN モジュール ( 2: アクセスポイント ) の情報を設定することで、オープンボックス ( 1 ) と他の無線 LAN クライアント ( 4 ) の無線 LAN 接続ができます。

**注記：**オープンボックス ( 1 )、無線 LAN モジュール ( 2 )、他の無線 LAN クライアント ( 4 ) の IP アドレスは、ネットワークアドレスが同じである必要があります。



- 1 オープンボックス
- 2 無線 LAN モジュール ( 無線 LAN モデルに内蔵 )
- 3 無線 LAN 設定画面
- 4 他の無線 LAN クライアント



## クライアントモード

オープンボックス ( 下図 1)、無線 LAN 設定画面 (3)、外部アクセスポイント (4)、他の無線 LAN クライアント (5) はそれぞれ異なる IP アドレスを持っています。クライアントモードの場合、オープンボックス (1) と無線 LAN モジュール (2) は同じ IP アドレスを持ちます。

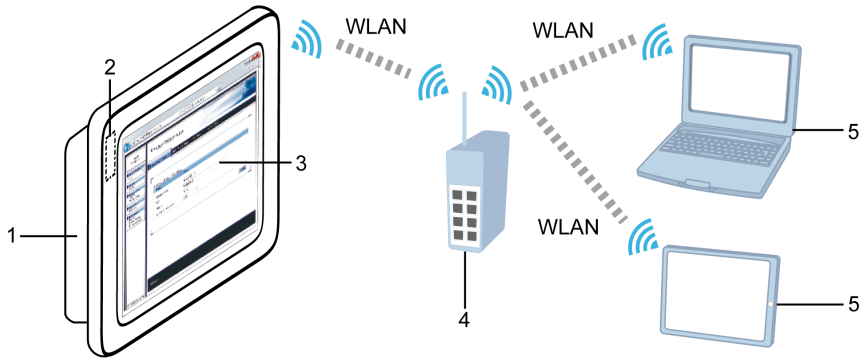
オープンボックス (1) と無線 LAN モジュール (2) の IP アドレスは、オープンボックス (1) に搭載されている Windows® のコントロールパネルで共通で設定します。

無線 LAN 設定画面 (3) の IP アドレスは、本書で説明している無線 LAN 設定画面の TCP/IP 設定 (25 ページ参照) で、共通で設定します。

外部アクセスポイント (4) と他の無線 LAN クライアント (5) の IP アドレスは、それぞれに搭載されている所定の設定ツールで設定します。

無線 LAN 設定画面 (3) の無線 LAN 設定 (27 ページ参照) と他の無線 LAN クライアント (5) の設定ツールで外部アクセスポイント (4: アクセスポイント) の情報を設定することで、オープンボックス (1) と他の無線 LAN クライアント (5) の無線 LAN 接続ができます。

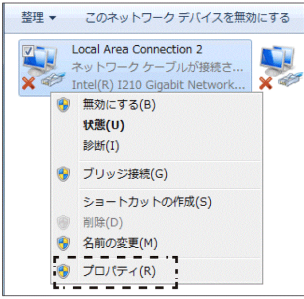

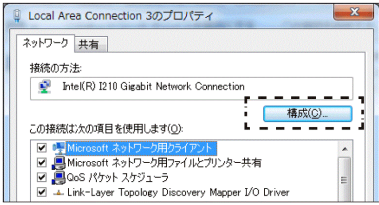

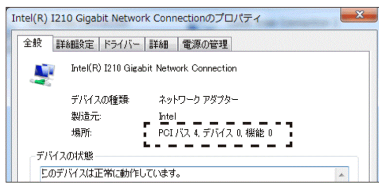
**注記:** オープンボックス (1)、無線 LAN 設定画面 (3)、外部アクセスポイント (4)、他の無線 LAN クライアント (5) の IP アドレスは、ネットワークアドレスが同じである必要があります。

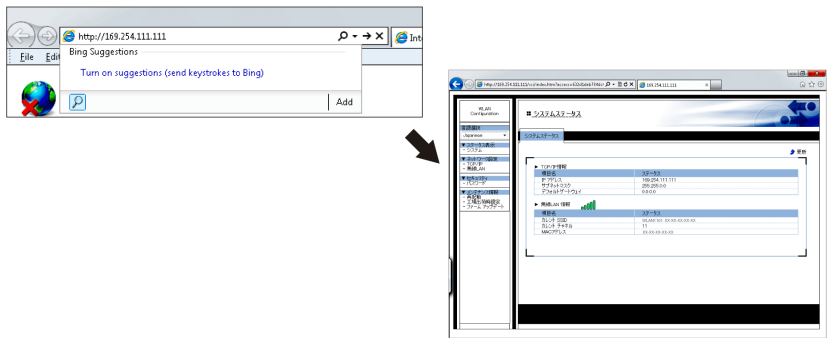


- 1 オープンボックス
- 2 無線 LAN モジュール (無線 LAN モデルに内蔵)
- 3 無線 LAN 設定画面
- 4 外部アクセスポイント
- 5 他の無線 LAN クライアント

## 2.2 無線 LAN 設定画面の起動方法

### 起動方法

手順	手順内容
1	オープンボックスと無線 LAN モデルを接続します。
2	接続されているすべての LAN ケーブルを取り外してください。
3	無線 LAN モデルの電源を入れ、Windows® デスクトップを表示します。
4	コントロールパネル → ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センター → <b>アダプターの設定の変更</b> を開きます。
5	<p><b>SP-5B40 の場合：</b> 「LAN9500A USB 2.0 to Ethernet 10/100 Adapter」(オープンボックスの無線 LAN 用ネットワークアダプター) と表示されているローカルエリア接続が接続状態にあることを確認してください。</p> <p><b>SP-5B41 の場合：</b> 表示されているすべてのローカルエリア接続のプロパティを確認します。プロパティ → ネットワーク → 構成をタッチし、全般タブの場所に「PCI bus 4. device 0. function 0」と表示されているものがオープンボックスの無線 LAN 用ネットワークアダプターです。そのローカルエリア接続が接続状態にあることを確認してください。</p>     
6	インターネットブラウザを起動します。

手順	手順内容
7	<p>アドレスバーに <b>http://&lt;無線 LAN 設定画面の IP アドレス&gt;</b> (デフォルト IP アドレス : 169.254.111.111) を入力すると無線 LAN 設定画面が表示されます。</p>  <p><b>注記 :</b> TCP/IP 設定 (25 ページ参照) で無線 LAN 設定画面の IP アドレスを変更している場合、変更した IP アドレスを入力してください。変更した IP アドレスで無線 LAN 設定画面を表示させるには、無線 LAN 設定画面とローカルエリア接続のネットワークアドレスが同じである必要があります。</p> <p>また、変更した IP アドレスが不明の場合は、WLAN Finder を使用し IP アドレスを検索する必要があります。WLAN Finder については 弊社サポート専用サイトを参照してください。  <a href="http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html">http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html</a></p> <p>例 : <b>太字</b>部分が同じ  &lt; 無線 LAN 設定画面 &gt;  IP アドレス : <b>192.168.1.1</b>  サブネットマスク : 255.255.0.0</p> <p>&lt; ローカルエリア接続 &gt;  IP アドレス : <b>192.168.1.2</b>  サブネットマスク : 255.255.0.0</p>

## 2.3

### 各種設定画面

#### このセクションについて

このセクションには次の項目が含まれています。

項目	参照ページ
概要	21
言語選択	22
システムステータス	23
ログイン	24
TCP/IP 設定	25
無線 LAN 設定	27
スマート無線設定	29
AP 検索	32
無線 Up/Down (無線 LAN の有効 / 無効)	33
パスワードの設定	34
再起動	35
工場出荷時設定	36
ファームウェアアップデート	37
ログアウト	38

## 概要

無線 LAN 設定画面の左側に各種設定メニューが表示されます。メニューを選択し、必要な設定を行ってください。

**注記：**変更した設定を有効にするには無線 LAN の再起動が必要です。各種設定変更後は無線 LAN 設定画面のメニューから**再起動**を選択し、再起動してください。

### 注記

#### 機器の損傷

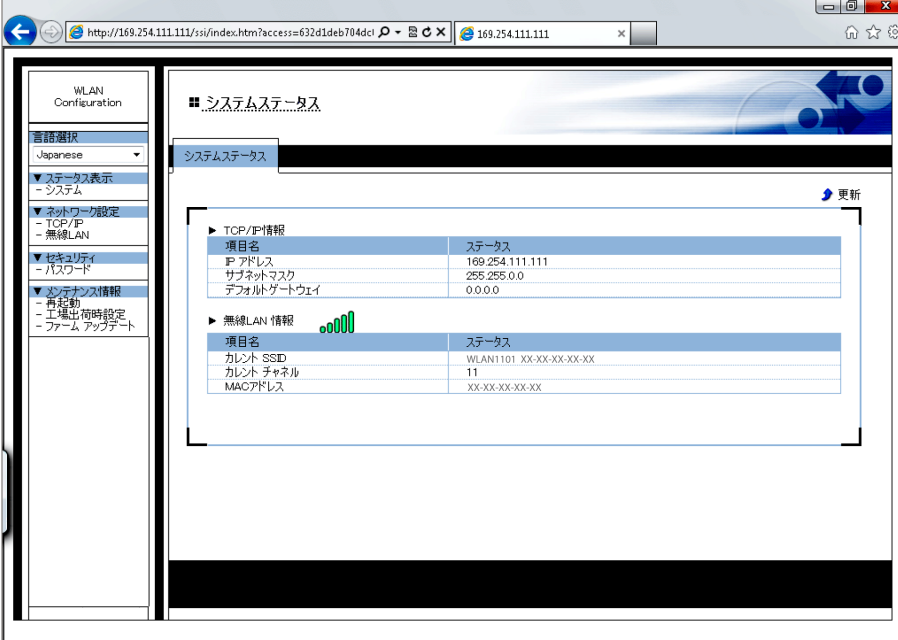
以下の状況で、本製品の電源を切らないでください。

- 設定の更新中
- ファームウェアの設定更新後の再起動時
- 工場出荷状態への設定変更時

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

## 言語選択

表示言語を選択します。英語または日本語が選択できます。工場出荷時の設定は英語です。



The screenshot shows a web browser window displaying the WLAN Configuration page. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- WLAN Configuration
- 言語選択 (Language Selection) - Japanese (selected)
- ▼ ステータス表示 (System Status)
- ▼ ネットワーク設定 (Network Settings)
  - TCP/IP
  - 無線LAN (Wireless LAN)
- ▼ セキュリティ (Security)
  - パスワード (Password)
- ▼ システム情報 (System Information)
  - 再起動 (Restart)
  - 工場出荷時設定 (Factory Default)
  - ファーム アップデート (Firmware Update)

The main content area is titled "システムステータス" (System Status) and displays the following information:

システムステータス

更新

▶ TCP/IP情報

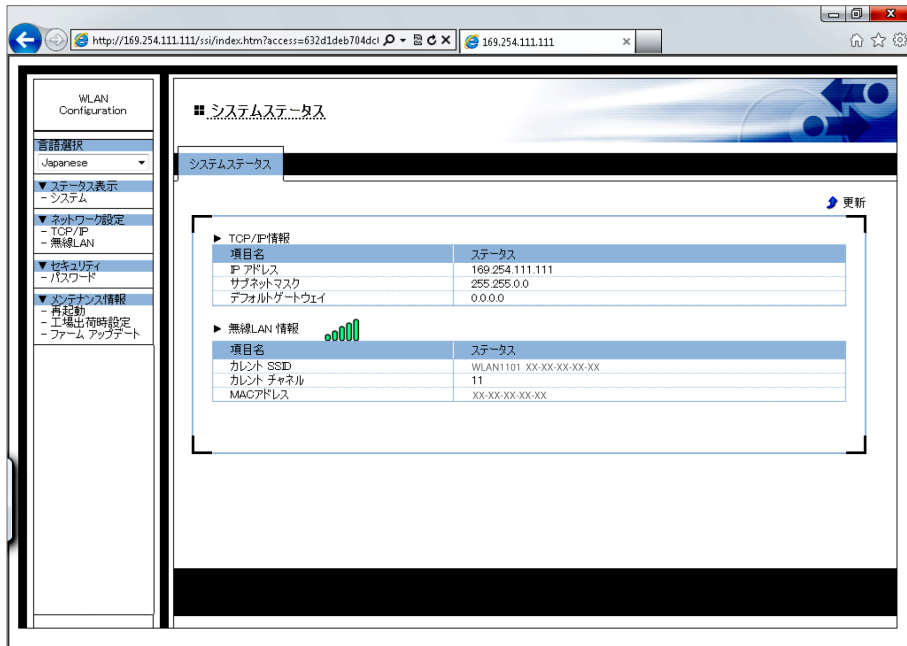
項目名	ステータス
IP アドレス	169.254.111.111
サブネット マスク	255.255.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0

▶ 無線LAN 情報

項目名	ステータス
カレント SSID	WLAN1101 XX-XX-XX-XX-XX
カレント チャンネル	11
MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX

## システムステータス

現在の無線 LAN のステータスを表示します。



### TCP/IP 情報

項目名	内容
IP アドレス	割り当てられている IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	使用しているサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	使用しているデフォルトゲートウェイを表示します。

### 無線 LAN 情報

項目名	内容
電波強度	無線の電波強度を 0% ~ 100% で表示します。 
カレント SSID	使用している SSID と BSSID を表示します。ネットワーク接続していない場合は何も表示しません。
カレントチャンネル	使用しているチャンネルを表示します。
MAC アドレス	アクセスポイントモード時のみ表示します。

## ログイン

パスワードを設定している場合、各種設定画面を表示させるにはログインする必要があります。メニューの**ログイン**を選択し、**ログイン**画面を表示の上、パスワードを入力してください。

**注記：**

- パスワードの設定についてはパスワードの設定 (34 ページ参照) を参照してください。
- 設定したパスワードは大切に保管してください。パスワードを紛失した場合は WLAN Tools を使用し、無線 LAN 設定を工場出荷状態にする必要があります。WLAN Tools については弊社サポート専用サイトを参照してください。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>





## TCP/IP 設定

TCP/IP の設定を行います。設定変更後、**設定更新**ボタンをタッチしてください。

**注記**：設定更新後、必ず**再起動**で無線 LAN を再起動してください(35 ページ参照)。



### TCP/IP 設定

項目名	内容
IP アドレス	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。「0.0.0.0」に設定すると、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。「0.0.0.0」(デフォルト)に設定すると無効になります。
DNS サーバ (プライマリ)	DNS プライマリサーバを設定します。
DNS サーバ (セカンダリ)	DNS セカンダリサーバを設定します。

### DHCP サーバ設定

項目名	内容
DHCP サーバ	DHCP サーバの有効 / 無効を設定します。
開始 IP アドレス	割り当て開始 IP アドレスを設定します。
終了 IP アドレス	割り当て終了 IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	割り当てた IP アドレスのためのサブネットマスクを設定します。「0.0.0.0」(デフォルト)に設定すると、割り当て開始 IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。

項目名	内容
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。「0.0.0.0」(デフォルト)に設定すると無効になります。
IP アドレスと同じアドレスを使用する (デフォルトゲートウェイ自動設定 チェック)	デフォルトゲートウェイのアドレスを自動的に IP アドレスと同じにするかを設定します。
DNS サーバアドレス	DNS サーバのアドレスを設定します。「0.0.0.0」(デフォルト)に設定すると無効になります。
IP アドレスと同じアドレスを使用する (DNS サーバ自動設定チェック)	DNS サーバアドレスを自動的に IP アドレスと同じにするかを設定します。
リース期間	リース期間を設定します。工場出荷時の設定は「10 日 0 時間 0 分」です。「0 日 0 時間 0 分」と入力された場合は、10 日と認識されます。

## 無線 LAN 設定

無線 LAN 接続に必要な設定を行います。設定変更後、**設定更新**ボタンをタッチしてください。

**注記**：設定更新後、必ず**再起動**で無線 LAN を再起動してください(35 ページ参照)。



### 無線 LAN 基本設定

項目名	内容
動作モード	無線ネットワークへの接続方法を設定します。アクセスポイントモードの場合は [Access Point]、クライアントモードの場合は [Infra.] を選択します (14 ページ参照)。
SSID	無線 LAN の SSID を設定します。
通信チャンネル	無線 LAN で使用するチャンネルを設定します。通信をする機器同士は、同じ通信チャンネルを使用する必要があります。アクセスポイントモード時のみ表示されます。
ネットワーク認証	無線 LAN アクセスポイントと接続する際の認証方式を設定します。

### WEP 設定

動作モードで [Infra.]、かつネットワーク認証で [Open] を選択した場合には表示されます。

項目名	内容
WEP	WEP 暗号化機能の有効 / 無効を設定します。

以下の項目は **WEP** を有効にした場合に表示されます。

項目名	内容
キーインデックス	WEP 暗号化に使用するキーインデックスを設定します。
WEP キー 1	WEP 暗号化に使用する暗号化キーを設定します。
WEP キー 2	
WEP キー 3	
WEP キー 4	
WEP キー 4	

### WPA/WPA2 設定

ネットワーク認証で [WPA-Personal] もしくは [WPA2-Personal] を選択した場合に表示され  
ます。

項目名	内容
暗号化方式	[AUTO]、[TKIP]、[AES] のいずれかを選択します。 <b>注記</b> ：[WPA-Personal] 選択時の初期値は [TKIP]、[WPA2-Personal] 選択時の初期値は [AES] です。
共有キー	TKIP/AES を使用する際の共有キーを設定します。

## スマート無線設定

無線 LAN 設定を簡単に行う機能です。スマート無線設定を実行した場合は、設定更新ボタンをタッチしてください。

注記：

- 本設定で他社製品と無線 LAN 接続を行う場合は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) 対応製品をご使用ください。
- 設定更新後、必ず再起動で無線 LAN を再起動してください (35 ページ参照)。

## アクセスポイントモード



### スマート無線設定

項目名	内容
スマート無線設定情報	スマート無線設定状態を表示します。 <b>Release</b> ボタンで、un-configured 状態に戻すことができます。
PIN コード方式	無線 LAN モデルの PIN コードを表示します。 <b>Generate PIN</b> をタッチすることにより、新しい PIN コードを生成することができます。

### スマート無線設定実行

項目名	内容
プッシュボタン方式	<b>実行</b> ボタンをタッチすることにより、プッシュボタン方式で無線 LAN の設定を行います。
PIN コード方式	クライアントの PIN コードを入力し <b>実行</b> ボタンをタッチすることにより、PIN コード方式で無線 LAN の設定を行います。

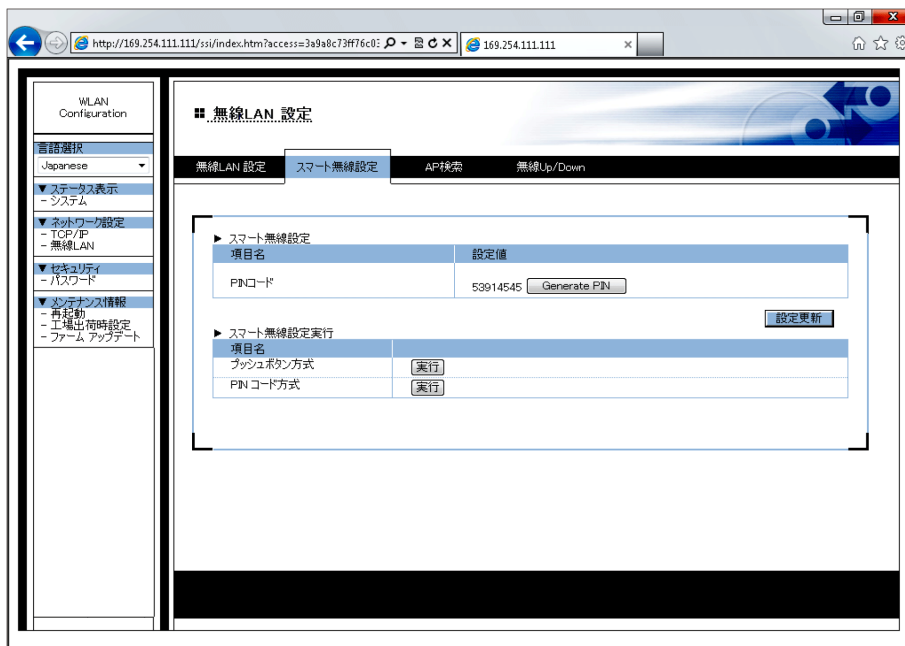
## 注記：

- 本設定実行時のタイムアウト時間は約 120 秒です。
- プッシュボタン方式で無線 LAN 設定を行う場合、2 台以上のプッシュボタン方式実行中の相手機器を検出した場合はエラーとなります。

## 無線 LAN 情報

項目名	内容
SSID	現在選択中の SSID を表示します。
通信チャンネル	現在選択中のチャンネルを表示します。
ネットワーク認証	現在選択中の認証方式と暗号化方式を表示します。
共有キー	現在選択中の共有キーを表示します。

## クライアントモード



## スマート無線設定

項目名	内容
PIN コード	無線 LAN モデルの PIN コードを表示します。

## スマート無線設定実行

項目名	内容
プッシュボタン方式	実行ボタンをタッチすることにより、プッシュボタン方式で無線 LAN の設定を行います。
PIN コード方式	クライアントの PIN コードを入力し実行ボタンをタッチすることにより、PIN コード方式で無線 LAN の設定を行います。

**注記：**

- 本設定実行時のタイムアウト時間は約 120 秒です。
- **プッシュボタン方式**で無線 LAN 設定を行う場合、2 台以上のプッシュボタン方式実行中の相手機器を検出した場合はエラーとなります。

## AP 検索

クライアントモードの場合、本機能で周辺のアクセスポイントを検出することができます。適切なアクセスポイントを選択し、必要に応じてネットワークキーを入力後、**設定更新**ボタンをタッチしてください。

**注記：**設定更新後、必ず**再起動**で無線 LAN を再起動してください (35 ページ参照)。



項目名	内容
再検索	アクセスポイントの再検索を行います。
ネットワークキー	アクセスポイントの暗号キーを入力します。

**注記：**無線 LAN モデルは Shared Key 認証の機器には対応していません。また、検出されたアクセスポイントが Open 認証であるか Shared Key 認証であるかの判別ができません。そのため、ネットワーク認証欄ではいずれの場合も [Open/Shared] と表示されますが、そのアクセスポイントに対しては Open 認証で対応します。



## 無線 Up/Down (無線 LAN の有効 / 無効)

無線 LAN ネットワーク接続の有効 (Uplink)/ 無効 (Downlink) を設定します。

**注記：** 設定更新後、再起動は不要です。



項目名	内容
Uplink	無線 LAN ネットワーク接続を有効にします。
Downlink	無線 LAN ネットワーク接続を無効にします。

**注記：** 選択されているボタンがグレー表示されます。

## パスワードの設定

無線 LAN 設定画面へのログイン用パスワードを設定します。パスワード設定後、**設定更新** ボタンをタッチしてください。

**注記**：設定更新後、必ず**再起動**で無線 LAN を再起動してください(35 ページ参照)。



項目名	内容
新しいパスワード	パスワードを設定します。

## 再起動

無線 LAN を再起動します。はいボタンをタッチすると再起動し、更新した設定が反映されます。



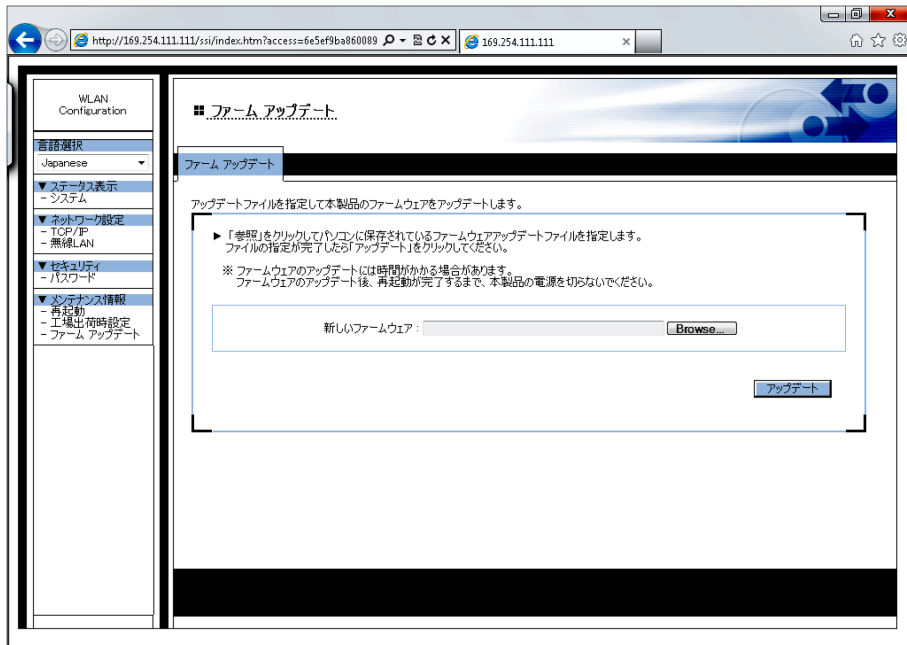
## 工場出荷時設定

設定を工場出荷状態に戻します。はいボタンをタッチするとブラウザ再起動のメッセージが表示されます。はいボタンをタッチし、無線 LAN を再起動してください。



## ファームウェアアップデート

弊社ウェブサイトから提供されるファームウェアのアップデートを行います。ダウンロードしたファームウェアの保存場所を指定し、**アップデートボタン**をタッチしてください。  
<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>



## ログアウト

パスワードが設定されている場合のみ表示されます。ログアウトするとシステムステータス画面に戻ります。

